

2020-2021 年度は、皆さんに、積極的にロータリーの扉を開き一緒に活動し、そしてできるだけ多くの友達を、すなわち価値観を共有する仲間を一人でも二人でも増やして欲しいのです。

皆さんはロータリーに多くの時間と費用を費やしています。が、果たして何人の人が、この素晴らしいロータリーの魅力を十分に享受しているでしょうか。

自分のクラブ内は言うに及ばず他のクラブのロータリアン、さらには海外クラブのどこかに高潔な志をもつ新たな友人ができたとき、それは大きな喜びと充実感に満たされるに違いありません。楽しさが生まれます。友情が生まれます。心も癒されます。周囲と自分自身の中で良い変化が生まれるのを感じます。そしてそれは、自分自身を磨き、奉仕の理念と世界平和への道標につながります。

ポールハリスがロータリーを作った最初の動機は心の癒しでした。瞬く間にロータリーが世界中に広まったのは、シェルドンやアーチクラフをはじめハーバートテラー、米山梅吉氏などの多くの偉大なリーダー達によって、理念と目的が時代と共に変化しながらも確立してきたからでしょう。でも、その根底にはポールハリスが求めていた人としての在り方、世界平和につながる心の安らぎへの願望が、あったからに他ならないと思います。

不変であるロータリーの4つの目的の第1項目に「知り合いを広める事によって奉仕の機会とすること」とあります。

“The development of acquaintance as an opportunity for service”

出会いは、交友を深めて友人となり、そして自己の研鑽と奉仕のさらなる心を高めて価値観を共有する同志へと繋がっていく。これこそがロータリーの神髄であり醍醐味であると思います。

皆さん、是非とも機会の扉を開きましょう。そして志を共有する多くの仲間(fellows)を作りましょう。この事は必ずや皆さんに多くの可能性をもたらします。

クラブがそして第 2570 地区が持続可能で、ますます活性化するよう一緒に行動しようではありませんか。

最後にロータリーのビジョン、もう一度理解を深めてください。

冒頭は together で始まります。

Together we see the world where people unite and take action to create lasting change across the globe in our communities and in ourselves.

(日本語訳)

私達は、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために人々が手を取り合って行動する世界を目指しています。

以上